

事務事業評価シート（1/2）

1頁
令和 4年 8月20日
13時29分21秒

評価年度 令和 3年度 進捗区分 2次評価

所属 0001231010 子育て支援課児童給付係

事務事業 02395 出産手当支給事務

電話番号 0566-71-2227

【基本情報】

計画回数	02	第8次安城市総合計画		
5Kの分類	005	こども		
項目（施策）	001	17子育て		
施策の方針	002	安心して生み育てられる環境の整備		
事務事業	002	出産手当支給事務		
事業期間	昭和50年度～			
実施方法	直営			
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目
健幸事業		マニフェスト		地方創生
根拠法令等	安城市出産手当条例			
備考				

【事業分析】

対象	低所得の子育て世帯が
目的	出産の際に生じる負担が軽減されます。
手段	児童手当の申請時に合わせて、制度の周知を行います。
事務内容	・申請の受付、認定 ・出産手当の支給

【コスト】

（単位：千円）

	令和 2年度 決算額	令和 3年度 決算額	令和 4年度 予算額
トータルコスト	595	1,580	164,470
事業費	280	260	161,500
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	280	260	161,500
人件費計	315	1,320	2,970
正規（人）	0.05	0.20	0.45
その他経費	0	0	0

	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
【事務事業活動実績】	出産手当支給件数 28件	出産手当支給件数 26件	出産手当支給 新生児出産緊急応援金 支給

事務事業評価シート (2 / 2)

2 頁
令和 4 年 8 月 20 日
13 時 29 分 21 秒

評価年度 令和 3 年度 進捗区分 2 次評価
所属 0001231010 子育て支援課児童給付係
事務事業 02395 出産手当支給事務

【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
出産手当受給者数	人	50.00	50.00	50.00
		28.00	26.00	0.00
新生児出産応援金受給者数	人	0.00	0.00	1,600.00
		0.00	0.00	0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	2
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	低所得者に対する支援として必要です。		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	低所得者の経済的負担の軽減を図るため、支援が必要です。		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	2
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	近年は、目標より低い水準で推移しています。		
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	2
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	支給要件等について、検討、見直しを行っています。		
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	実施自治体は多くありませんが、低所得者への支援は必要です。		

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	低所得者の出産に対し支給を行っており、子育て世帯の負担軽減に必要な事業です。引き続き、転入や出生に伴う申請時において支給要件の確認を確実に行うとともに、対象者への周知を図ります。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

事務事業評価シート（1/2）

3頁
令和 4年 8月20日
13時29分21秒

評価年度 令和 3年度 進捗区分 2次評価
所属 0001231010 子育て支援課児童給付係
事務事業 02396 子ども・子育て支援事業計画推進事業

電話番号 0566-71-2227

【基本情報】

計画次数	02	第8次安城市総合計画			
5Kの分類	005	こども			
項目（施策）	001	17子育て			
施策の方針	001	17子育てその他			
事務事業	001	子ども・子育て支援事業計画推進事業			
事業期間	平成元年度～				
実施方法	直営				
会計区分	一般会計	事業区分	義務的	性質別費目	
健全事業		マニフェスト		地方創生	
根拠法令等	子ども・子育て支援法				
備考	平成28年度の事務事業の見直しにより、平成29年度から以下の事業から名称変更しています。 ・子ども・子育て支援事業				

【事業分析】

対象	子どもや子育て中の保護者が
目的	必要な支援を受けることにより、安心して子どもを産み育てることができるようになります。
手段	安城市子ども・子育て会議を開催し、計画の進捗管理を行います。
事務内容	・第2期子ども・子育て支援事業計画の進捗管理 ・子ども・子育て会議の開催

【コスト】

（単位：千円）

	令和 2年度 決算額	令和 3年度 決算額	令和 4年度 予算額
トータルコスト	2,961	3,111	5,470
事業費	126	141	520
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	126	141	520
人件費計	2,835	2,970	4,950
正規（人）	0.45	0.45	0.75
その他経費	0	0	0

	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
【事務事業活動実績】	子ども・子育て会議 2回開催	子ども・子育て会議 2回開催	子ども・子育て会議 2回開催

事務事業評価シート (2 / 2)

4 頁
令和 4 年 8 月 20 日
13 時 29 分 21 秒

評価年度 令和 3 年度 進捗区分 2 次評価
所属 0001231010 子育て支援課児童給付係
事務事業 02396 子ども・子育て支援事業計画推進事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
行動計画重点推進項目実施率	%	100.00 100.00	100.00 100.00	100.00 0.00
子ども・子育て会議の開催	回	2.00 2.00	2.00 2.00	2.00 0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	3
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	子ども・子育て支援法に規定された計画を策定し、進めています。		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	家庭を取り巻く環境の変化により、ニーズは高まっています。		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	1
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	計画に従い、順調に各事業を進めています。		
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	2
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	子ども・子育て会議の意見を踏まえ各事業の改善に努めています。		
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	他の自治体においても、同様の計画を策定しています。		

【1 次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1 次コメント (4 0 0 文字)	子育てを社会全体で支援し、子どもたちの健やかな成長を促すため、今後も積極的に事業を進め、各事業が計画どおりに実施されるよう進捗管理を行います。 また、国における新たな子育て施策の動向や子ども・子育て支援法の改正を注視し、計画の記載事項について検討を行います。

【2 次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2 次コメント (4 0 0 文字)	本事業においては、2 次評価を実施していません。

事務事業評価シート (1 / 2)

5 頁
令和 4 年 8 月 20 日
13 時 29 分 21 秒

評価年度 令和 3 年度 進捗区分 2 次評価

所属 0001231010 子育て支援課児童給付係

事務事業 02404 児童遊園等維持管理事務

電話番号 0566-71-2227

【基本情報】

計画回数	02	第 8 次安城市総合計画		
5 K の分類	005	こども		
項目 (施策)	001	1 7 子育て		
施策の方針	002	安心して生み育てられる環境の整備		
事務事業	003	児童遊園等維持管理事務		
事業期間	平成元年度 ~			
実施方法	一部委託			
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目
健全事業		マニフェスト		地方創生
根拠法令等	安城市児童厚生施設及び管理に関する条例			
備考				

【事業分析】

対象	子どもやその保護者が
目的	身近な場所で安全安心に遊ぶことができるようになります。
手段	地元町内会からの要望により遊具等を設置します。日常管理 (草取り・清掃等) は町内会が行い、遊具や植栽の維持管理は市が行います。
事務内容	<ul style="list-style-type: none"> ・遊具点検、植栽の剪定・消毒の委託 ・町内会の要望に基づく修繕及び工事 ・町内会、地主への管理謝礼の支払い

【コスト】

(単位 : 千円)

	令和 2 年度 決算額	令和 3 年度 決算額	令和 4 年度 予算額
トータルコスト	22,445	27,365	46,319
事業費	20,870	26,045	44,339
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	20,870	26,045	44,339
人件費計	1,575	1,320	1,980
正規 (人)	0.25	0.20	0.30
その他経費	0	0	0

	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
【事務事業活動実績】	児童遊園等整備・更新 ・修繕 (22 箇所) 遊具点検 (123 箇所) 樹木剪定	児童遊園等整備・更新 ・修繕 (18 箇所) 遊具点検 (123 箇所) 樹木剪定 横山寺田遊園工事	児童遊園等整備・更新 ・修繕 遊具点検 樹木剪定 上条西遊園 今池児童遊園

事務事業評価シート (2 / 2)

評価年度 令和 3 年度 進捗区分 2 次評価
所属 0001231010 子育て支援課児童給付係
事務事業 02404 児童遊園等維持管理事務

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
遊園に関する苦情	件	10.00 4.00	10.00 3.00	10.00 0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	地元の要望により都市公園等を補充します。		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	各地域において、子どもたちの身近な遊び場となっています。		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標おりの進捗である	1
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	適切に維持管理を行っています。		
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	2
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	修繕及び委託業務を、都市公園の所管課と連携して行っています。		
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	他の自治体においても、同様の遊園等が整備されています。		

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	子どもたちが身近な場所で安全に遊ぶことができる居場所の確保が必要です。施設の利用状況や地元要望などを確認し、遊具の撤去や修繕を始めとした維持管理について、地元町内会と連携を図りながら事業を進めていきます。劣化の酷い遊園については個別に予算を付け対応していきます。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

事務事業評価シート(1/2)

7頁
令和4年8月20日
13時29分21秒

評価年度 令和3年度 進捗区分 2次評価

所属 0001231010 子育て支援課児童給付係

事務事業 02405 児童手当支給事務

電話番号 0566-71-2227

【基本情報】

計画回数	02	第8次安城市総合計画			
5Kの分類	005	こども			
項目(施策)	001	17子育て			
施策の方針	001	17子育てその他			
事務事業	002	児童手当支給事務			
事業期間	平成元年度～				
実施方法	直営				
会計区分	一般会計	事業区分	義務的	性質別費目	
健全事業		マニフェスト		地方創生	
根拠法令等	児童手当法				
備考					

【事業分析】

対象	
目的	
手段	
事務内容	<ul style="list-style-type: none">申請の受付、認定現況届等、各書類の発送、受理児童手当の支給(6月、10月、2月)

【コスト】

(単位:千円)

	令和2年度 決算額	令和3年度 決算額	令和4年度 予算額
トータルコスト	3,472,024	3,413,241	3,357,915
事業費	3,459,739	3,404,991	3,347,025
国庫支出金	2,436,945	2,379,033	2,340,534
県支出金	519,826	509,012	503,212
地方債	0	0	0
その他	50	0	1
一般財源	502,918	516,946	503,278
人件費計	12,285	8,250	10,890
正規(人)	1.95	1.25	1.65
その他経費	0	0	0

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
【事務事業活動実績】	受給対象児童数 27,783人	受給対象児童数 27,195人	受給対象児童数 27,243人

事務事業評価シート (2 / 2)

評価年度 令和 3 年度 進捗区分 2 次評価
所属 0001231010 子育て支援課児童給付係
事務事業 02405 児童手当支給事務

上段：目標値 下段：実績値

【定量評価】

指標名	単位	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	児童手当法に基づき、受給者の居住地において実施する事業です。		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	子育てで家庭の経済的負担を軽減するため、支援が必要です。		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由			
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	2
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	各届出の電子化を進めています。		
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	国の制度であり、他の自治体も同様の給付を行っています。		

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	児童の健全育成と保護者の経済的負担を軽減するため国の制度に基づいた給付を行っており、今後も継続して事業を実施します。また、転入や出生等に伴う申請など必要な手続きについて周知を行うとともに、今年度制度改正に対しても周知を行います。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

事務事業評価シート（1/2）

9頁
令和 4年 8月20日
13時29分21秒

評価年度 令和 3年度 進捗区分 2次評価

所属 0001231010 子育て支援課児童給付係

事務事業 02470 ひとり親家庭支援事業

電話番号 0566-71-2229

【基本情報】

計画回数	02	第8次安城市総合計画			
5Kの分類	005	こども			
項目（施策）	001	17子育て			
施策の方針	005	ひとり親家庭の自立支援			
事務事業	002	ひとり親家庭支援事業			
事業期間	平成元年度～				
実施方法	一部委託				
会計区分	一般会計	事業区分	義務的/政策的	性質別費目	
健幸事業		マニフェスト		地方創生	
根拠法令等	母子及び父子並びに寡婦福祉法				
備考	平成28年度の事務事業の見直しにより、平成29年度から以下の事業を統合しています。 ・ひとり親家庭交流支援事業 ・母子家庭等自立支援対策事業 ・母子等福祉資金支援事業 ・ひとり親家庭生活支援事業 令和2年度より子育て支援課児童家庭係から子育て支援課児童給付係へ移管されます。				

【事業分析】

対象	ひとり親家庭が
目的	就業できることで家庭生活の安定と向上を実現することができるようになります。
手段	ひとり親家庭への就労支援や技術取得に向けた給付金支給事務を行うとともに、家庭生活支援員の派遣やひとり親家庭自立支援員による家庭内の諸問題に対する指導・助言等を行います。
事務内容	・給付金の事前の面談、申請受付、書類審査、給付金の支給 ・家庭生活支援員派遣調整 ・相談業務ほか

【コスト】

（単位：千円）

	令和2年度 決算額	令和3年度 決算額	令和4年度 予算額
トータルコスト	11,215	18,925	21,428
事業費	5,545	12,325	15,818
国庫支出金	4,738	8,326	10,814
県支出金	55	274	323
地方債	0	0	0
その他	101	1	1
一般財源	651	3,724	4,680
人件費計	5,670	6,600	5,610
正規（人）	0.90	1.00	0.85
その他経費	0	0	0

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
【事務事業活動実績】	各種給付金支給 6人 生活支援員派遣 0日	各種給付金支給 16人 生活支援員派遣 3日	各種給付金支給 5人 生活支援員派遣 8日

事務事業評価シート (2 / 2)

10 頁
令和 4 年 8 月 20 日
13 時 29 分 21 秒

評価年度 令和 3 年度 進捗区分 2 次評価
所属 0001231010 子育て支援課児童給付係
事務事業 02470 ひとり親家庭支援事業

【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
給付金支給人数	人	5.00	5.00	5.00
		6.00	16.00	0.00
支援員派遣日数	日	8.00	8.00	8.00
		0.00	3.00	0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	2
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	ひとり親の居住地において、きめ細やかな支援が必要です。		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	安定した日常生活を営むうえで支援が必要です。		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	2
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	支援員派遣日数が目標を下回っており、周知等の改善が必要です。		
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	3
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	国や県の制度によるところが大きいため、見直しが困難です。		
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	他の自治体においても同様の事業を行っています。		

【1 次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1 次コメント (4 0 0 文字)	ひとり親家庭が安定した仕事に就き、自立した生活を送ることができるようにするために必要な事業です。引き続き、適切な助言や指導、制度の周知を行うとともに、支援内容の検討を行い、ひとり親家庭が自立できるよう努めます。また令和 3 年度は母子家庭自立支援給付金を支給したが 1 6 人となったため、事業費が増額となった。

【2 次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2 次コメント (4 0 0 文字)	本事業においては、2 次評価を実施していません。

事務事業評価シート（1/2）

11頁
令和4年8月20日
13時29分21秒

評価年度 令和3年度 進捗区分 2次評価
所属 0001231010 子育て支援課児童給付係
事務事業 02477 児童扶養手当・遺児手当支給事務

電話番号 0566-71-2229

【基本情報】

計画回数	02	第8次安城市総合計画			
5Kの分類	005	こども			
項目（施策）	001	17子育て			
施策の方針	005	ひとり親家庭の自立支援			
事務事業	003	児童扶養手当・遺児手当支給事務			
事業期間	昭和36年度～				
実施方法	直営				
会計区分	一般会計	事業区分	義務的/政策的	性質別費目	
健全事業		マニフェスト		地方創生	
根拠法令等	児童扶養手当法、安城市遺児手当支給条例、愛知県遺児手当支給規則				
備考	平成28年度の事務事業の見直しにより、平成29年度から以下の事業を統合しています。 ・児童扶養手当支給事務 ・遺児手当事務 令和2年度より子育て支援課児童家庭係から子育て支援課児童給付係へ移管されます。				

【事業分析】

対象	ひとり親家庭が
目的	手当の支給を受けることで安定した日常生活を送り、また、就労及び自立できるようになります。
手段	18歳以下（18歳に達した日の属する年度の末日まで）の児童を養育している人に支給します
事務内容	・申請受付、審査、認定 ・手当の支給（5月・7月・9月・11月・1月・3月） ・愛知県遺児手当の受付、県への書類送付、認定通知書等の発送

【コスト】

（単位：千円）

	令和2年度 決算額	令和3年度 決算額	令和4年度 予算額
トータルコスト	600,764	547,529	574,206
事業費	579,344	530,369	552,426
国庫支出金	158,565	156,798	163,333
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	537	0	2
一般財源	420,242	373,571	389,091
人件費計	21,420	17,160	21,780
正規（人）	3.40	2.60	3.30
その他経費	0	0	0

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
【事務事業活動実績】	児童扶養手当受給者数 1,221人 遺児手当受給者数 1,601人 児童扶養手当受給対象者特別給付金受給者数 1,259人	児童扶養手当受給者数 1,204人 遺児手当受給者数 1,552人	児童扶養手当受給者数 1,000人 遺児手当受給者数 1,420人

事務事業評価シート (2 / 2)

12 頁
令和 4 年 8 月 20 日
13 時 29 分 21 秒

評価年度 令和 3 年度 進捗区分 2 次評価
所属 0001231010 子育て支援課児童給付係
事務事業 02477 児童扶養手当・遺児手当支給事務

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
児童扶養手当受給者数	人	1,000.00 1,221.00	1,000.00 1,204.00	1,000.00 0.00
遺児手当対象者数	人	1,420.00 1,601.00	1,420.00 1,552.00	1,420.00 0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	2
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	ひとり親家庭等に対し、広く支援を行います。		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	生活の安定と自立促進に寄与するため支援を行う必要があります。		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	1
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	対象者に対し、適切に支給を行っています。		
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	2
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	各届出の電子化を進めています。		
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	多くの自治体において、同様の給付を行っています。		

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	相対的に所得水準が低い傾向にあるひとり親家庭が、安定した生活を送りつつ自立することができるよう、引き続き、事業を継続していきます。令和3年度は児童扶養手当受給者及び遺児手当受給者が令和2年度より減少したため、事業費が減額となった。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

事務事業評価シート（1/2）

13頁
令和 4年 8月20日
13時29分21秒

評価年度 令和 3年度 進捗区分 2次評価
所属 0001231010 子育て支援課児童給付係
事務事業 03286 子育て世帯臨時特別給付金給付事務

電話番号

【基本情報】

計画回数	02	第8次安城市総合計画		
5Kの分類	005	こども		
項目（施策）	001	17子育て		
施策の方針	001	17子育てその他		
事務事業	007	子育て世帯臨時特別給付金給付事務		
事業期間	令和 3年度 ~			
実施方法	直営			
会計区分		事業区分	義務的	性質別費目
健全事業		マニフェスト		地方創生
根拠法令等				
備考				

【事業分析】

対象	
目的	
手段	
事務内容	給付金の支給 各種書類の発送

【コスト】

（単位：千円）

	令和 2年度 決算額	令和 3年度 決算額	令和 4年度 予算額
トータルコスト	0	3,108,341	0
事業費	0	3,100,091	0
国庫支出金	0	3,100,091	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	0	0	0
人件費計	0	8,250	0
正規（人）	0.00	1.25	0.00
その他経費	0	0	0

	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
【事務事業活動実績】		支給者数 18,242人 対象児童数 30,927人	

事務事業評価シート（2/2）

評価年度 令和 3年度 進捗区分 2次評価
所属 0001231010 子育て支援課児童給付係
事務事業 03286 子育て世帯臨時特別給付金給付事務

【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1 必要性	国・県・民間等との補 完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	受給者の居住地において実施する事業です。		
2 必要性	市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	子育てで家庭の経済的負担を軽減するために支援が必要です。		
3 有効性	目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由			
4 効率性	事業の効率化・事業費 の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	2
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	効率的な事業手法に取り組みました。		
5 公平性	事業規模・サービス水 準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	他の自治体においても同様の給付を行っています。		

【1次評価結果】

事業の方向性	休止・廃止・終了
1次コメント (400文字)	国の制度に基づき、コロナ禍の影響を受けている子育て世帯の生活を支援するため、18歳以下（平成15年4月2日以降生まれ）の児童を養育している世帯に対し、児童1人当たり100,000円の給付金を支給し、令和3年度で事業を終了しました。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

事務事業評価シート(1/2)

評価年度 令和3年度 進捗区分 2次評価
所属 0001231010 子育て支援課児童給付係
事務事業 03287 子育て世帯生活支援特別給付金給付事務 電話番号

【基本情報】

計画回数	02	第8次安城市総合計画		
5Kの分類	005	こども		
項目(施策)	001	17子育て		
施策の方針	001	17子育てその他		
事務事業	008	子育て世帯生活支援特別給付金給付事務		
事業期間	令和3年度～			
実施方法	直営			
会計区分		事業区分	義務的	性質別費目
健全事業		マニフェスト		地方創生
根拠法令等				
備考				

【事業分析】

対象	
目的	
手段	
事務内容	給付金の支給 申請の受付、認定 各書類の発送、受理

【コスト】

(単位:千円)

	令和2年度 決算額	令和3年度 決算額	令和4年度 予算額
トータルコスト	0	190,640	0
事業費	0	182,390	0
国庫支出金	0	182,390	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	0	0	0
人件費計	0	8,250	0
正規(人)	0.00	1.25	0.00
その他経費	0	0	0

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
【事務事業活動実績】		ひとり親世帯 支給者数 1,090人 支給対象児童数 1,656人 ふたり親世帯 支給者数 1,011人 支給対象児童数 1,805人	

事務事業評価シート(2/2)

評価年度 令和3年度 進捗区分 2次評価
所属 0001231010 子育て支援課児童給付係
事務事業 03287 子育て世帯生活支援特別給付金給付事務

上段:目標値 下段:実績値

指標名	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1 必要性	国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	受給者の居住地において実施する事業です。		
2 必要性	市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	ひとり親、ふたり親世帯の経済的負担を軽減するため必要です。		
3 有効性	目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由			
4 効率性	事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	2
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	申請不要による支給を始めとした申請勧奨に努めています。		
5 公平性	事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	他の自治体も同様の給付を行っています。		

【1次評価結果】

事業の方向性	休止・廃止・終了
1次コメント (400文字)	コロナ禍による影響が長期化する中で、子育て世帯の生活を支援するため、低所得のひとり親、ふたり親世帯に対し児童一人あたり、5万円の特別給付金を支給し、令和3年度に事業終了した。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

事務事業評価シート (1 / 2)

1 頁
令和 4 年 8 月 20 日
13 時 30 分 21 秒

評価年度 令和 3 年度 進捗区分 2 次評価
所属 0001231020 子育て支援課子育て支援係
事務事業 02440 ファミリー・サポート・センター事業

電話番号 0566-72-2315

【基本情報】

計画回数	02	第 8 次安城市総合計画		
5 K の分類	005	こども		
項目 (施策)	001	1 7 子育て		
施策の方針	001	1 7 子育てその他		
事務事業	003	ファミリー・サポート・センター事業		
事業期間	平成14年度 ~			
実施方法	直営			
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目
健全事業		マニフェスト		地方創生
根拠法令等	児童福祉法第 2 1 条の 9、ファミリー・サポート・センター事業実施要綱			
備考				

【事業分析】

対象	子育ての手伝いをしてほしい人が
目的	安心して活動を依頼することができるようになります。
手段	ファミリー・サポート・センターとは「子育ての手助けをしてほしい人 (依頼会員) 」と「子育てのお手伝いをしたい人 (提供会員) 」が会員となってお互いに助け合う会員組織です。対象児童は 0 歳から小学校 6 年生までです。
事務内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 広報活動 ・ 会員の相互援助活動の調整等 ・ 入会説明会 ・ 講習会、研修会、交流会

【コスト】

(単位 : 千円)

	令和 2 年度 決算額	令和 3 年度 決算額	令和 4 年度 予算額
トータルコスト	11,155	11,853	11,561
事業費	4,855	5,253	4,961
国庫支出金	1,837	1,533	1,306
県支出金	1,335	1,375	1,234
地方債	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	1,683	2,345	2,421
人件費計	6,300	6,600	6,600
正規 (人)	1.00	1.00	1.00
その他経費	0	0	0

	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
【事務事業活動実績】	<ul style="list-style-type: none"> ・ あんじょう広報 (4 回) ・ ファミサポだより (4 回) ・ 会員の相互援助活動の調整等 ・ 入会説明会 (20 回)、講習会 (3 回)、研修会 (1 回)、交流会 (1 回) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ あんじょう広報 (4 回) ・ ファミサポだより (3 回) ・ 会員の相互援助活動の調整等 ・ 入会説明会 (24 回)、講習会 (4 回)、研修会 (3 回)、交流会 (2 回) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ あんじょう広報 (4 回) ・ ファミサポだより (3 回) ・ 会員の相互援助活動の調整等 ・ 入会説明会 (24 回)、講習会 (4 回)、研修会 (3 回)、交流会 (2 回)

事務事業評価シート (2 / 2)

2 頁
令和 4 年 8 月 20 日
13 時 30 分 21 秒

評価年度 令和 3 年度 進捗区分 2 次評価
所属 0001231020 子育て支援課子育て支援係
事務事業 02440 ファミリー・サポート・センター事業

【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
会員数	人	800.00	800.00	850.00
		834.00	851.00	0.00
活動件数	回	3,300.00	3,800.00	4,000.00
		3,266.00	4,582.00	0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補 完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	民間等でサービスを行っていません。		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	民間等でサービスを行っていません。		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	1
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	手助けを依頼する会員は多く、市民ニーズは充分にあります。		
4	効率性 事業の効率化・事業費 の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	1
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	会員数、活動件数とも目標を上回っています。		
5	公平性 事業規模・サービス水 準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	他市の事業と比較して適正です。		

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	核家族化や共働き世帯が増える中、手助けを必要とする方は多くいるため、継続が必要な事業です。依頼会員のニーズに十分応えるためには、提供会員の確保が引き続き必要であり、従来からの啓発・広報に加え新たな啓発の取り組みも進めていきます。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

事務事業評価シート(1/2)

3頁
令和4年8月20日
13時30分21秒

評価年度 令和3年度 進捗区分 2次評価
所属 0001231020 子育て支援課子育て支援係
事務事業 02441 つどいの広場事業

電話番号 0566-72-2317

【基本情報】

計画回数	02	第8次安城市総合計画		
5Kの分類	005	こども		
項目(施策)	001	17子育て		
施策の方針	002	安心して生み育てられる環境の整備		
事務事業	004	つどいの広場事業		
事業期間	平成17年度～			
実施方法	全部委託			
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目
健全事業		マニフェスト		地方創生
根拠法令等	児童福祉法第21条の9、安城市地域子育て支援拠点事業実施要綱			
備考				

【事業分析】

対象	子育て中の親子が
目的	気軽に交流できる場所として利用できます。
手段	乳幼児を持つ子育て中の親子が気軽に集い、子育てについて打ち解けた雰囲気の中で語り合い、親子で遊びながら交流することで、精神的な安定をもたらし、安心して子育てができる環境を提供します。
事務内容	<ul style="list-style-type: none">子育て親子の交流の場の提供と交流の促進子育て等に関する相談、援助の実施地域の子育て関連情報の提供子育て及び子育て支援に関する講習等の実施

【コスト】

(単位:千円)

	令和2年度 決算額	令和3年度 決算額	令和4年度 予算額
トータルコスト	19,863	20,240	20,259
事業費	19,233	19,580	19,599
国庫支出金	6,403	6,542	5,234
県支出金	6,403	6,542	5,234
地方債	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	6,427	6,496	9,131
人件費計	630	660	660
正規(人)	0.10	0.10	0.10
その他経費	0	0	0

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
【事務事業活動実績】	<ul style="list-style-type: none">ほっとスペース 行事 年7回北部ほっとスペース 行事 年10回アンフォーレほっとスペース 行事 年7回ほのぼの広場 講習等 年8回	<ul style="list-style-type: none">ほっとスペース 行事 年11回北部ほっとスペース 行事 年15回アンフォーレほっとスペース 行事 年12回ほのぼの広場 講習等 年16回	<ul style="list-style-type: none">ほっとスペース 行事 年12回北部ほっとスペース 行事 年12回アンフォーレほっとスペース 行事 年12回ほのぼの広場 講習等 年16回

事務事業評価シート (2 / 2)

評価年度 令和 3 年度 進捗区分 2 次評価
所属 0001231020 子育て支援課子育て支援係
事務事業 02441 つどいの広場事業

【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
利用人数	人	50,000.00 17,708.00	21,000.00 21,783.00	23,000.00 0.00
つどいの広場設置数	か所	4.00 4.00	4.00 4.00	4.00 0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補 完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	2
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	民間事業は限定的であり、市事業として実施する必要があります。		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	民間事業は限定的であり、市事業として実施する必要があります。		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	1
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	交流の場、相談の場として、市民ニーズは充分あります。		
4	効率性 事業の効率化・事業費 の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	2
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	コロナ対策による利用制限のある中、目標を上回りました。		
5	公平性 事業規模・サービス水 準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	他市の事業と比較して適正です。		

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	<p>コロナ対策として、利用時の人数制限等を実施するため利用人数の目標を下げましたが、消毒等の感染防止対策を徹底することで目標を上回る利用がありました。</p> <p>乳幼児を持つ子育て中の親子が気軽に集い、交流することができる場を提供することは、子育てに不安や悩みを持つ保護者にとって必要であるため、今後も継続して実施します。</p>

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	<p>本事業においては、2次評価を実施していません。</p>

事務事業評価シート (1 / 2)

5 頁
令和 4 年 8 月 20 日
13 時 30 分 21 秒

評価年度 令和 3 年度 進捗区分 2 次評価
所属 0001231020 子育て支援課子育て支援係
事務事業 02443 地域子育て支援センター事業

電話番号 0566-72-2317

【基本情報】

計画回数	02	第 8 次安城市総合計画			
5 K の分類	005	こども			
項目 (施策)	001	1 7 子育て			
施策の方針	001	1 7 子育てその他			
事務事業	004	地域子育て支援センター事業			
事業期間	平成 9 年度 ~				
実施方法	一部委託				
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目	
健全事業		マニフェスト		地方創生	結婚・出産・子育て
根拠法令等	児童福祉法第 2 1 条の 9、安城市地域子育て支援拠点事業実施要綱				
備考					

【事業分析】

対象	子育て家庭が
目的	安心して子育てができるようになります。
手段	育児に不安を抱える家庭への電話相談などの相談指導や、育児講座などの育児支援、子育てサークルの育成・支援、子育て情報誌「ささえねっと」の発行などを行いません。
事務内容	<ul style="list-style-type: none"> 子育て親子の交流の場の提供と交流の促進 子育て等に関する相談、援助の実施 地域の子育て関連情報の提供 子育て及び子育て支援に関する講習等の実施 (月 1 回以上)

【コスト】

(単位 : 千円)

	令和 2 年度 決算額	令和 3 年度 決算額	令和 4 年度 予算額
トータルコスト	31,670	39,331	41,990
事業費	19,070	26,131	28,790
国庫支出金	10,044	12,424	9,852
県支出金	9,026	10,707	8,452
地方債	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	0	3,000	10,486
人件費計	12,600	13,200	13,200
正規 (人)	2.00	2.00	2.00
その他経費	0	0	0

	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
【事務事業活動実績】	子育て村々広 3 回 育メン広場 7 回 赤ちゃん広場 7 回 ふたごみつこ広場 4 回 育児講習会 9 回 パパ講座 2 回 子育て何でも相談 3 回 F S プログラム 3 回	子育て村々広 8 回 育メン広場 12 回 赤ちゃん広場 10 回 ふたごみつこ広場 6 回 育児講習会 12 回 パパ講座 3 回 子育て何でも相談 2 回 F S ママ講座 8 回	子育て村々広 12 回 育メン広場 12 回 赤ちゃん広場 36 回 ふたごみつこ支援 24 回 育児講習会 13 回 パパ講座 3 回 子育て何でも相談 2 回 F S ママ講座 6 回

事務事業評価シート (2 / 2)

6 頁
令和 4 年 8 月 20 日
13 時 30 分 21 秒

評価年度 令和 3 年度 進捗区分 2 次評価
所属 0001231020 子育て支援課子育て支援係
事務事業 02443 地域子育て支援センター事業

【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
利用延べ人数	人	35,000.00 10,778.00	13,000.00 18,732.00	20,000.00 0.00
子育て支援センター設置数	か所	5.00 5.00	5.00 5.00	5.00 0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	2
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	民間サービスは一部地域のため、市で事業を行う必要があります。		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	交流の場、相談の場として市民ニーズは充分にあります。		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	1
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	コロナ禍による利用制限のある中、目標を上回りました。		
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	2
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	コロナ対策をとしての講座・広場開催に取り組みました。		
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	他市の事業と比較して適正です。		

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	<p>コロナ対策として、利用時の人数制限等を実施するため利用延べ人数の目標を下げましたが、消毒等の感染防止対策を徹底することで目標を上回る利用がありました。</p> <p>会計年度任用職員の報酬増（職員体制充実）と職員手当増（支給月数の増に伴う期末手当増）等により事業費が増加しました。</p> <p>核家族化が進む中、また、コロナ禍で交流の場が減少する中、子育て情報の提供や子育て支援に関する講習会及び交流の場となる広場を開催し、子育て支援の充実を図り、子育ての不安等を緩和し、子どもの健やかな育ちを促進することは、子育てに不安や悩みを持つ保護者にとって必要であるため、今後も継続して実施します。</p>

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

事務事業評価シート（1/2）

評価年度 令和 3年度 進捗区分 2次評価

所属 0001231020 子育て支援課子育て支援係

事務事業 02446 児童センター事業

電話番号 0566-72-2317

【基本情報】

計画回数	02	第8次安城市総合計画		
5Kの分類	005	こども		
項目（施策）	001	17子育て		
施策の方針	001	17子育てその他		
事務事業	005	児童センター事業		
事業期間	昭和58年度～			
実施方法	一部委託			
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目
健幸事業		マニフェスト		地方創生
根拠法令等	児童福祉法第40条、安城市児童厚生施設の設置及び管理に関する条例			
備考				

【事業分析】

対象	18歳未満の児童が
目的	地域の子どもの居場所としての児童センターを安全に気持ちよく利用できるようになります。
手段	児童の健全な遊び場の確保、健康増進、情操を高める
事務内容	<ul style="list-style-type: none">・来館者とのかかわり（子育ての相談等）・定期講座の開催（囲碁・将棋教室、卓球教室）・親子参加行事の開催（乳幼児の親子対象）・小中学生対象の行事の開催

【コスト】

（単位：千円）

	令和 2年度 決算額	令和 3年度 決算額	令和 4年度 予算額
トータルコスト	78,538	83,271	97,373
事業費	71,608	76,011	90,113
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	71,608	76,011	90,113
人件費計	6,930	7,260	7,260
正規（人）	1.10	1.10	1.10
その他経費	0	0	0

	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
【事務事業活動実績】	<ul style="list-style-type: none">・おはなし会 月1回・乳幼児親子遊び 月1回・0歳親子サロン 月1回・乳幼児講座 月20～25回（以上4～8月コロナ対策で中止）	<ul style="list-style-type: none">・おはなし会 月1回・乳幼児親子遊び 月1回・0歳親子サロン 月1回・乳幼児講座 月20～25回・赤ちゃん触れ合い体験 コロナ対策で中止	<ul style="list-style-type: none">・おはなし会 月1回・乳幼児親子遊び 月1回・0歳親子サロン 月1回・乳幼児講座 月20～25回・赤ちゃん触れ合い体験 年9～10回

事務事業評価シート (2 / 2)

評価年度 令和 3 年度 進捗区分 2 次評価
所属 0001231020 子育て支援課子育て支援係
事務事業 02446 児童センター事業

【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
児童センター利用者数	人	405,000.00	76,000.00	120,000.00
		63,095.00	110,079.00	0.00
児童センター設置数	か所	9.00	9.00	9.00
		9.00	9.00	0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補 完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	民間等でサービスを行っていません。		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	遊び場、交流の場として市民ニーズは充分あります。		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	1
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	コロナ対策による利用制限のある中、目標を上回りました。		
4	効率性 事業の効率化・事業費 の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	2
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	講座依頼先の見直しにより事業費の削減に取り組みました。		
5	公平性 事業規模・サービス水 準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	他市の事業と比較して適正です。		

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	<p>コロナ対策として、利用時の人数制限等を実施するため利用者数の目標を下げましたが、消毒等の感染防止対策を徹底することで目標を上回る利用がありました。</p> <p>会計年度任用職員の職員手当増（支給月数の増に伴う期末手当増）と修繕料増（安全な利用のため床を修繕）等により事業費が増加しました。</p> <p>地域の子どもたちが安心できる居場所となり、健全な遊びを通して子どもの成長と能力の発達手助けをする場をして、今後も必要とされる事業です。</p>

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	<p>本事業においては、2次評価を実施していません。</p>

事務事業評価シート（1/2）

9頁
令和 4年 8月20日
13時30分21秒

評価年度 令和 3年度 進捗区分 2次評価
所属 0001231020 子育て支援課子育て支援係
事務事業 02450 子育て支援総合拠点施設管理事業

電話番号 0566-72-2319

【基本情報】

計画回数	02	第8次安城市総合計画			
5Kの分類	005	こども			
項目（施策）	001	17子育て			
施策の方針	001	17子育てその他			
事務事業	006	子育て支援総合拠点施設管理事業			
事業期間	平成23年度～				
実施方法	一部委託				
会計区分	一般会計	事業区分	経常的	性質別費目	
健全事業		マニフェスト		地方創生	
根拠法令等					
備考					

【事業分析】

対象	子育て中の市民が
目的	快適に施設利用ができるようになります。
手段	施設の保守点検や清掃など委託により管理を行うとともに、必要な修繕等を実施します。
事務内容	<ul style="list-style-type: none">・樹木消毒・剪定業務委託・自動ドア・GHP保守点検等委託・清掃業務委託・不具合箇所の修繕

【コスト】

（単位：千円）

	令和 2年度 決算額	令和 3年度 決算額	令和 4年度 予算額
トータルコスト	8,708	17,150	7,848
事業費	5,558	13,850	4,548
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	5,558	13,850	4,548
人件費計	3,150	3,300	3,300
正規（人）	0.50	0.50	0.50
その他経費	0	0	0

	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
【事務事業活動実績】	施設管理委託11件及び施設修繕5件等を実施	施設管理委託9件、施設修繕1件及び施設工事1件等を実施	施設管理委託9件及び施設修繕3件等を実施

事務事業評価シート（2/2）

10頁
令和4年8月20日
13時30分21秒

評価年度 令和3年度 進捗区分 2次評価
所属 0001231020 子育て支援課 子育て支援係
事務事業 02450 子育て支援総合拠点施設管理事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度
苦情件数	件	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	3
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	施設保全等は民間に委託しています。		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	市民ニーズに応えるため、快適な環境整備が必要です。		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	1
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	適切な施設の維持管理ができています。		
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	2
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	施設保全（長寿命化）のための屋上防水工事を実施しました。		
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	他市の施設管理と比較して適正です。		

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	施設の長寿命化のため、屋上防水工事を実施したことにより事業費が増加しました。 施設の維持管理と長寿命化のために定期的な点検や修繕は必要であり、今後も継続して実施します。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

事務事業評価シート (1 / 2)

1 頁
令和 4 年 8 月 20 日
13 時 31 分 12 秒

評価年度 令和 3 年度 進捗区分 2 次評価
所属 0001231028 子育て支援課児童クラブ係
事務事業 02445 児童クラブ事業

電話番号 0566-72-2319

【基本情報】

計画回数	02	第 8 次安城市総合計画		
5 K の分類	005	こども		
項目 (施策)	001	1 7 子育て		
施策の方針	004	児童クラブ学年拡大		
事務事業	001	児童クラブ事業		
事業期間	平成 4 年度 ~			
実施方法	一部委託			
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目
健全事業		マニフェスト		地方創生 結婚・出産・子育て
根拠法令等	児童福祉法、安城市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例、安城市児童クラブ規則 令和 2 年度より子育て支援課子育て支援係から子育て支援課児童クラブ係に移管されました。			
備考				

【事業分析】

対象	小学校に就学している児童の保護者が、
目的	就労等により家庭にいない昼間等に、(小学校区内の) 児童クラブに児童を預けることができます。
手段	昼間保護者のいない家庭の児童を対象に、適切な遊び及び生活の場としての児童クラブを設置し、児童の健全育成の向上を図ります。
事務内容	公立 5 7 か所、民間 3 か所で児童クラブを実施しています。 開所時間は、放課後が下校時から午後 7 時まで、長期休業期間中が午前 7 時 3 0 分から午後 7 時までです。 開所日は、月曜日から土曜日までです。(土曜日は拠点クラブ 9 か所のみ開所)

【コスト】

(単位 : 千円)

	令和 2 年度 決算額	令和 3 年度 決算額	令和 4 年度 予算額
トータルコスト	687,910	637,458	763,830
事業費	643,810	584,658	711,030
国庫支出金	226,693	116,838	159,767
県支出金	87,954	77,409	90,743
地方債	0	27,800	76,000
その他	111,576	130,973	156,800
一般財源	217,587	231,638	227,720
人件費計	44,100	52,800	52,800
正規 (人)	7.00	8.00	8.00
その他経費	0	0	0

	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
【事務事業活動実績】	定員 : 2,155 人 5・6 年生受入状況 : 9 校 西部、南部、桜林児童クラブ建設	定員 : 2,410 人 5・6 年生受入状況 : 11 校 錦町児童クラブ建設 桜井児童クラブ用地購入	定員 : 2,495 人 5・6 年生受入状況 : 20 校 東部、桜井児童クラブ建設

事務事業評価シート（2/2）

2頁
令和 4年 8月20日
13時31分12秒

評価年度 令和 3年度 進捗区分 2次評価
所属 0001231028 子育て支援課児童クラブ係
事務事業 02445 児童クラブ事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
児童クラブ登録児童数	人	2,100.00 2,148.00	2,100.00 2,146.00	2,200.00 0.00
児童クラブ設置数	か所	56.00 56.00	59.00 59.00	60.00 0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	2
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	民間は3施設のため、補完が必要です。		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	6年生までの完全受入れの要望もあり、ニーズが高いです。		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	1
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	児童クラブ数や定員を増やし拡充しています。		
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	2
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	入会受付・申請方法を検討し、改善しています。		
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	他市の事業と比較して、適正です。		

【1次評価結果】

事業の方向性	拡充
1次コメント (400文字)	令和3年度は錦町小学校の増築に合わせ児童クラブ専用室を建設し、また令和4年度に桜井児童クラブを建設するための用地として小学校の隣接地を購入しました。このように小学校6年生までの受入れ可能な学校数を増やし、また、待機児童がでないように定員を拡大しつつ、事業拡充に合わせ放課後児童支援員の増員を図っていく必要があります。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

事務事業評価シート（1/2）

1頁
令和 4年 8月20日
13時32分04秒

評価年度 令和 3年度 進捗区分 2次評価

所属 0001231030 子育て支援課児童家庭係

事務事業 02461 家庭児童相談事業

電話番号 0566-71-2272

【基本情報】

計画回数	02	第8次安城市総合計画		
5Kの分類	005	こども		
項目（施策）	001	17子育て		
施策の方針	005	ひとり親家庭の自立支援		
事務事業	001	家庭児童相談事業		
事業期間	平成16年度～			
実施方法	直営			
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目
健幸事業		マニフェスト		地方創生
根拠法令等	児童福祉法第10条、25条、児童虐待防止法、安城市虐待防止地域協議会設置要綱			
備考				

【事業分析】

対象	児童養育上の諸問題のある家庭が
目的	子どもの様々な問題を相談できます
手段	・ 児童家庭相談 子どものさまざまな問題の相談に応じ、保護者や関係機関とともに問題解決を図ります。 ・ 虐待等防止地域協議会（児童部会）を中心に児童相談センター、保健所、警察、民生委員・児童委員等と連携して子どもの人権を守る体制を支援します。（虐待等防止地域協議会、実務者会議、個別ケース検討会議）
事務内容	・ 相談や通報が入った場合に迅速な対応を行います。 ・ 関係機関との情報共有や問題解決のための会議の開催をします。 ・ 児童虐待防止等の啓発運動を行います。

【コスト】

（単位：千円）

	令和 2年度 決算額	令和 3年度 決算額	令和 4年度 予算額
トータルコスト	27,654	29,419	46,856
事業費	6,864	8,299	9,236
国庫支出金	110	172	219
県支出金	5	172	176
地方債	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	6,749	7,955	8,841
人件費計	20,790	21,120	37,620
正規（人）	3.30	3.20	5.70
その他経費	0	0	0

	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
【事務事業活動実績】	・ 虐待（35件） ・ 養護相談（107件） ・ DV相談（6件） ・ その他（207件） ・ 継続（252件）	・ 虐待（30件） ・ 養護相談（100件） ・ DV相談（4件） ・ その他（168件） ・ 継続（222件）	・ 虐待 ・ 養護相談 ・ DV相談 ・ その他 ・ 継続

事務事業評価シート (2 / 2)

2 頁
令和 4 年 8 月 20 日
13 時 32 分 04 秒

評価年度 令和 3 年度 進捗区分 2 次評価
所属 0001231030 子育て支援課児童家庭係
事務事業 02461 家庭児童相談事業

【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
要保護児童相談件数	件	340.00 355.00	340.00 302.00	320.00 0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	関係機関との連携を図り、迅速な対応をします。		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	児童家庭相談や子どものさまざまな問題の相談に応じます。		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	1
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	相談件数自体は減少しましたが、迅速な対応をしています。		
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	2
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	児童相談システムを導入し、事務の効率を図っています。		
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	今後とも重要な業務であり、継続的に実施していきます。		

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	相談件数自体は減少傾向にありますが、今後も各種研修や啓発活動を行うことで多様化する問題に対応できるよう職員のレベルアップや関係機関との連携を図り、児童虐待等への強化をしていきます。また、子ども家庭総合支援拠点として、すべての子どもとその家庭及び妊産婦等を対象として、必要な支援に係る業務全般を行っています。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

事務事業評価シート（1/2）

3頁
令和 4年 8月20日
13時32分04秒

評価年度 令和 3年度 進捗区分 2次評価
所属 0001231030 子育て支援課児童家庭係
事務事業 02478 母子生活支援施設入所事業

電話番号 0566-71-2272

【基本情報】

計画回数	02	第8次安城市総合計画		
5Kの分類	005	こども		
項目（施策）	001	17子育て		
施策の方針	005	ひとり親家庭の自立支援		
事務事業	004	母子生活支援施設入所事業		
事業期間	平成元年度～			
実施方法	直営			
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目
健幸事業		マニフェスト		地方創生
根拠法令等	児童福祉法第23条、安城市児童福祉法施行細則、安城市母子・女性緊急避難保護事業要綱			
備考				

【事業分析】

対象	DVを受けた母子あるいは生活困窮により児童福祉に欠ける母子が
目的	保護され、自立支援施設で生活の基盤を作り、母子で自立した生活ができるように支援します。
手段	女性相談を通じてDV、経済困窮等により母子生活支援施設への入所が必要と思われる母子世帯に施設への入所手続きを行い、一時的に施設での生活をする事により、社会への自立を支援します。 また、経済的な理由により入院助産を受けることができない妊婦に対して、助産施設へ入所して助産を受けるための支援をします。
事務内容	相談・申請等受付、承認通知、施設への連絡調整、支払事務、負担金の徴収

【コスト】

（単位：千円）

	令和 2年度 決算額	令和 3年度 決算額	令和 4年度 予算額
トータルコスト	21,818	10,701	15,391
事業費	15,518	4,761	10,111
国庫支出金	7,764	2,369	5,000
県支出金	3,882	1,184	2,500
地方債	0	0	0
その他	1	0	1
一般財源	3,871	1,208	2,610
人件費計	6,300	5,940	5,280
正規（人）	1.00	0.90	0.80
その他経費	0	0	0

	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
【事務事業活動実績】	【母子生活支援施設】 前年度からの継続入所 世帯数 3世帯 新規入所 世帯数 2世帯 退所 世帯数 3世帯 【助産施設】 1人	【母子生活支援施設】 前年度からの継続入所 世帯数 2世帯 新規入所 世帯数 0世帯 退所 世帯数 2世帯 【助産施設】 1人	前年度からの継続入所 世帯数 0世帯 新規入所 世帯数 2世帯

事務事業評価シート（2/2）

評価年度 令和 3年度 進捗区分 2次評価
所属 0001231030 子育て支援課児童家庭係
事務事業 02478 母子生活支援施設入所事業

【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
一時保護後に母子生活支援施設に入所した母子の割合	%	40.00 100.00	40.00 0.00	40.00 0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	法令に基づき、市が実施することとされています。		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	緊急時の入所先として必要です。		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	1
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	緊急時対応のための施設ですが、新規入所者がいませんでした。		
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	2
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	緊急時に迅速な対応ができるよう、事務改善に努めています。		
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	緊急時に対応ができるようにしています。		

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	令和3年度は最大で2世帯の入所がありましたが、ともに年度中に退所したため、前年度と比較し、事業費が減少しました。しかしながら、本事業は緊急性があり、すぐに対応が必要な内容であり、入所者についての自立支援も考慮して継続的に支援が必要です。入所者は少ないですが、入所手続きに時間がかかることが多いため、迅速な対応ができるよう努めます。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

事務事業評価シート（1/2）

5頁
令和 4年 8月20日
13時32分04秒

評価年度 令和 3年度 進捗区分 2次評価

所属 0001231030 子育て支援課児童家庭係

事務事業 02479 子ども養育支援事業

電話番号 0566-71-2272

【基本情報】

計画回数	02	第8次安城市総合計画			
5Kの分類	005	こども			
項目（施策）	001	17子育て			
施策の方針	005	ひとり親家庭の自立支援			
事務事業	005	子ども養育支援事業			
事業期間	平成17年度～				
実施方法	一部委託				
会計区分	一般会計	事業区分	義務的/政策的	性質別費目	
健幸事業		マニフェスト		地方創生	
根拠法令等	児童福祉法第6条、第6条の3、第21条の2				
備考	平成28年度の事務事業の見直しにより、平成29年度から以下の事業を統合しています。 ・子育て短期支援事業 ・養育支援訪問事業				

【事業分析】

対象	家庭での養育が一時的に困難な場合や、出産後の育児を補助してくれる人がいない家庭が
目的	児の養育に悩んだり育児がうまくいかない場合など、支援員の派遣などにより身近に相談ができたり家事の援助を受けることで改善していくことができるようになります。
手段	ヘルパーや保健師、元保育士の派遣をします。また、一時的に養育が困難な場合は、委託先施設へ入所することもできます。
事務内容	委託施設や事業者との契約事務、利用者と派遣者との調整や顔合わせなど、料金の収受事務、利用支払事務

【コスト】

（単位：千円）

	令和2年度 決算額	令和3年度 決算額	令和4年度 予算額
トータルコスト	22,484	25,721	28,695
事業費	17,444	19,121	22,095
国庫支出金	1,071	381	913
県支出金	147	381	913
地方債	0	0	0
その他	346	2	2
一般財源	15,880	18,357	20,267
人件費計	5,040	6,600	6,600
正規（人）	0.80	1.00	1.00
その他経費	0	0	0

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
【事務事業活動実績】	養育支援利用家庭数 75世帯 養育支援派遣家庭数 50世帯 施設入所日数合計 14日	養育支援利用家庭数 63世帯 養育支援派遣家庭数 41世帯 施設入所日数合計 17日	養育支援利用家庭数 35世帯 養育支援派遣家庭数 25世帯 施設入所日数合計 14日

事務事業評価シート (2 / 2)

評価年度 令和 3 年度 進捗区分 2 次評価
所属 0001231030 子育て支援課児童家庭係
事務事業 02479 子ども養育支援事業

【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
養育支援訪問事業利用 家庭数	世帯	58.00	58.00	58.00
		75.00	63.00	0.00
養育支援訪問事業派遣 家庭数	世帯	38.00	38.00	38.00
		50.00	41.00	0.00
施設利用日数合計	日	42.00	42.00	42.00
		14.00	17.00	0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク	
1	必要性	国・県・民間等との補 完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
			2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
			3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	法令に基づき、市が実施することとされています。			
2	必要性	市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
			2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
			3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	社会情勢の変化によりニーズは充分にあります。			
3	有効性	目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	1
			2 目標を下回る進捗状況である	
			3 進捗はかなり遅れている	
理由	コロナ禍にもかかわらず、目標件数よりも多い利用がありました。			
4	効率性	事業の効率化・事業費 の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	2
			2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
			3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	必要な家庭のニーズ、委託先の意見を聞きながら進めています。			
5	公平性	事業規模・サービス水 準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
			2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
			3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	養育支援が必要な家庭については適正に実施しています。			

【1 次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1 次コメント (4 0 0 文字)	新型コロナウイルス感染症の影響により、施設への短期入所を敬遠する傾向が続いている傾向があり、事業費は減少しています。しかしながら、核家族の世帯や共働きの世帯あるいは経済的に困窮しているような世帯などへの支援は今後、ますます重要な施策であり、引き続き生まれてくる子ども達が健やかに育つようにサポートしていきます。

【2 次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2 次コメント (4 0 0 文字)	本事業においては、2 次評価を実施していません。